

アーバンフェンス施工説明書

商品・施工に関するお問合せ

TEL 0776-38-2533
FAX 0776-38-3085

樹脂フェンス製造メーカー

EXTILE
株式会社エクスタイル

【施工上の注意事項】

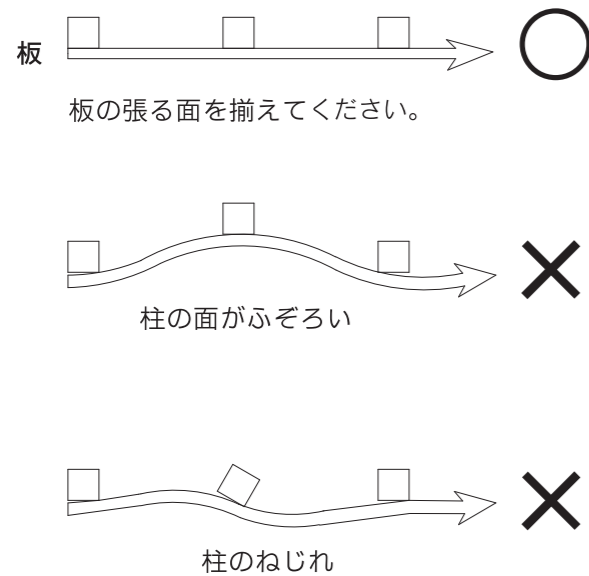
- 製品の組み立て・施工は必ず施工説明書に従って行ってください。
- アーバンフェンスは目隠しフェンス用の部材です。強度が必要な防護柵や高所の手すり等には使用できません。
- 製品を危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。
- アルミ材や製品の切り口には、バリが残る場合があります。怪我をする可能性がありますので取扱いには注意してください。
- 施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分別してから適切な処理をしてください。
- アーバンフェンスは素材の特性上、温度差による伸縮・板の反りが発生する場合があります。
- アーバンフェンスは原料にリサイクル材を使用しているためロットにより色ムラ・色差が生じる場合があります。(特に部材の交換や追加工事の場合は、既存の部材と色差が生じやすくなります)
- アーバンフェンスは必ず平坦な場所に平置きしてください。(立て掛けたり、段差のある場所に置くと板が変形する場合があります)
- アーバンフェンスUVの板材は切断の際に表面に欠けが発生する場合があります。(サンドペーパー、ヤスリ等をご使用いただくと欠けが目立ちにくくなります)
- 水が凍結する可能性のある地域では、アルミ柱の埋込部に浸水防止剤(発泡スチロール・下部キャップ等)を入れるなど凍結対策をとってください。(弊社アルミ材に浸水防止剤はふくまれておりません)
- アルミ柱を立てるときは、柱に必ず4mm程度の水抜き穴をあけてください。又、耐風圧を考慮しブロックや独立基礎の強度が十分かご確認ください。
- コンクリート(またはモルタル)には強塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結材)や塩分を含む砂(海砂)などは使用しないでください。柱の腐食が促進され破損事故につながる恐れがあります。
- ジョイント材を取り付ける際は、必ずキリで下穴をあけてください。(下穴をあけずに施工するとバリの発生やスペーサー破損の原因になります)
- 風当たりの強い場所、積雪の多い場所や、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。
- 風当たりの強い場所や施工フェンスの高さがある場合、アルミ柱上部での揺れ止め胴縁のご使用をお勧めします。(詳しくは営業担当者にご確認ください)

【ご使用上の注意事項】

- 本製品にぶらさがったり、のぼったりしないでください。
- 重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。
- 汚れを落とす際には、製品表面に傷がつかないように柔らかい布か、スポンジで水洗いしてください。
- 汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用してください。
- 製品の近くで火気を使用しないでください。

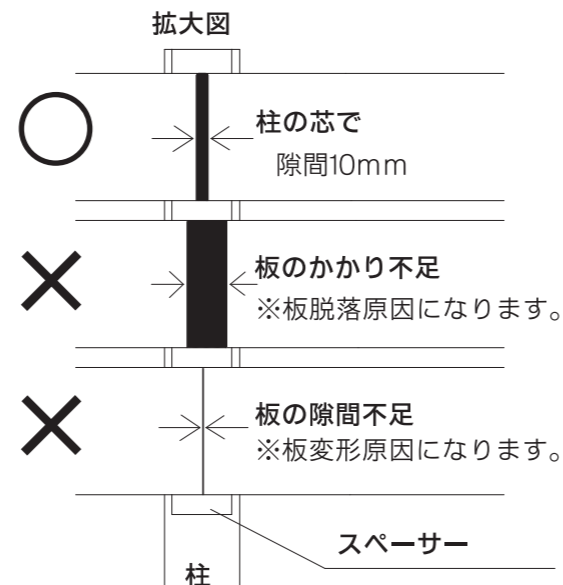
[施工のアドバイス]

柱施工の注意



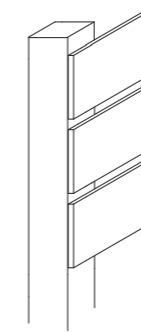
ジョイント部の注意

板の「隙間」と「かかり」に注意してください。
※板が長い場合は、切り詰めしてください。

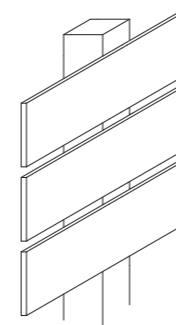


端部の納まり

[柱外面合わせ]

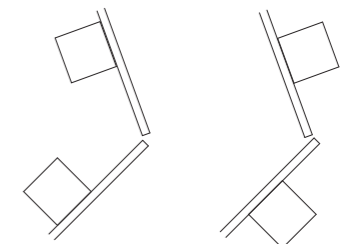


[張り出し納まり]

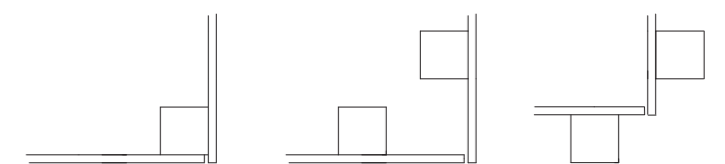


コーナー部の納まり

[鈍角の場合]



[直角の場合]



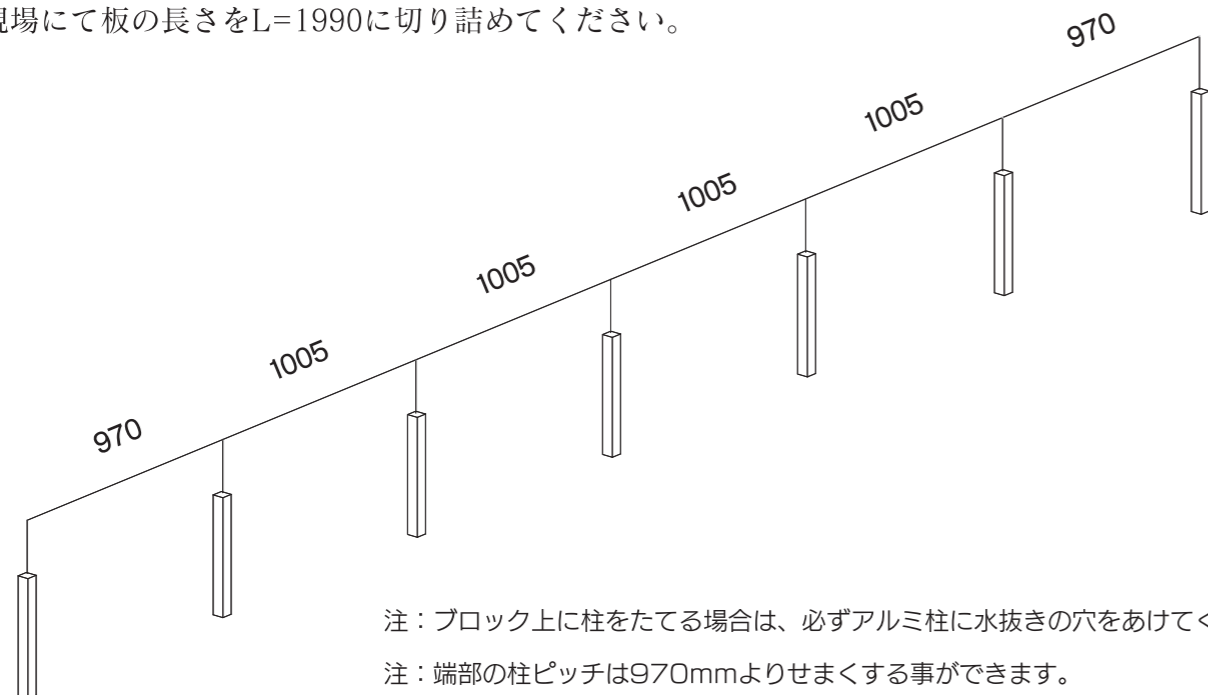
※板は温度上昇で伸縮します。

つきあわせの場合隙間を5mm程度あけてください。

※板の張り出しは、柱の芯から200mmまでにしてください。

①アルミ柱を立てる

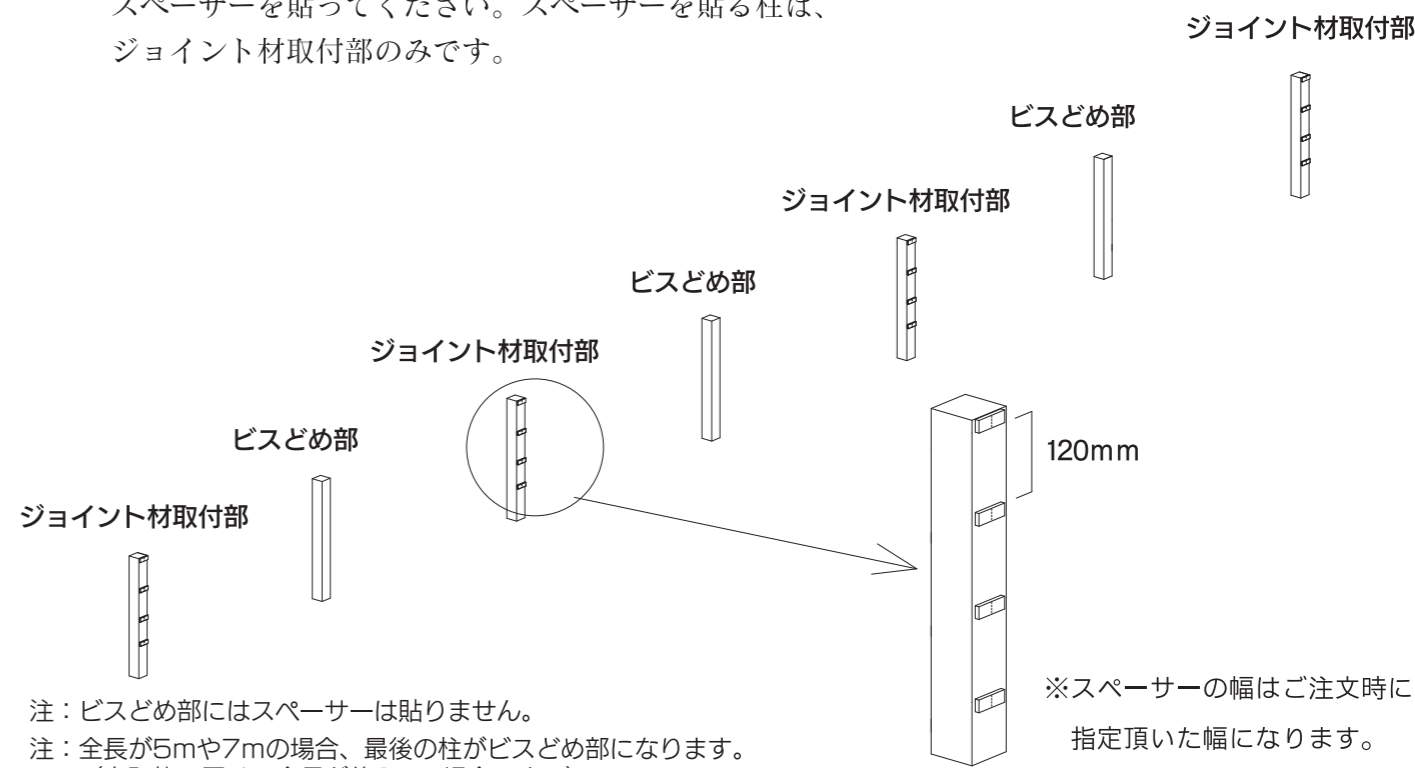
アルミ柱を建込みます。柱ピッチは必ず1005mm以内で施工してください。
 図は60×60柱を使い、アーバンフェンス120幅L=2000の板を3枚横に並べる施工です。
 ブロック上など、柱芯々1000mmで施工する場合は、
 現場にて板の長さをL=1990に切り詰めてください。



注：ブロック上に柱をたてる場合は、必ずアルミ柱に水抜き穴をあけてください。
 注：端部の柱ピッチは970mmよりせまくすることができます。
 裏面の「端部の納まり」をご覧ください。

②スペーサーを貼る

アルミ柱にスペーサーを貼ります。スペーサーは接着テープ面をアルミ柱に
 貼り付けてください。柱の最上部から、板の幅分(120mm)あけながら
 スペーサーを貼ってください。スペーサーを貼る柱は、
 ジョイント材取付部のみです。

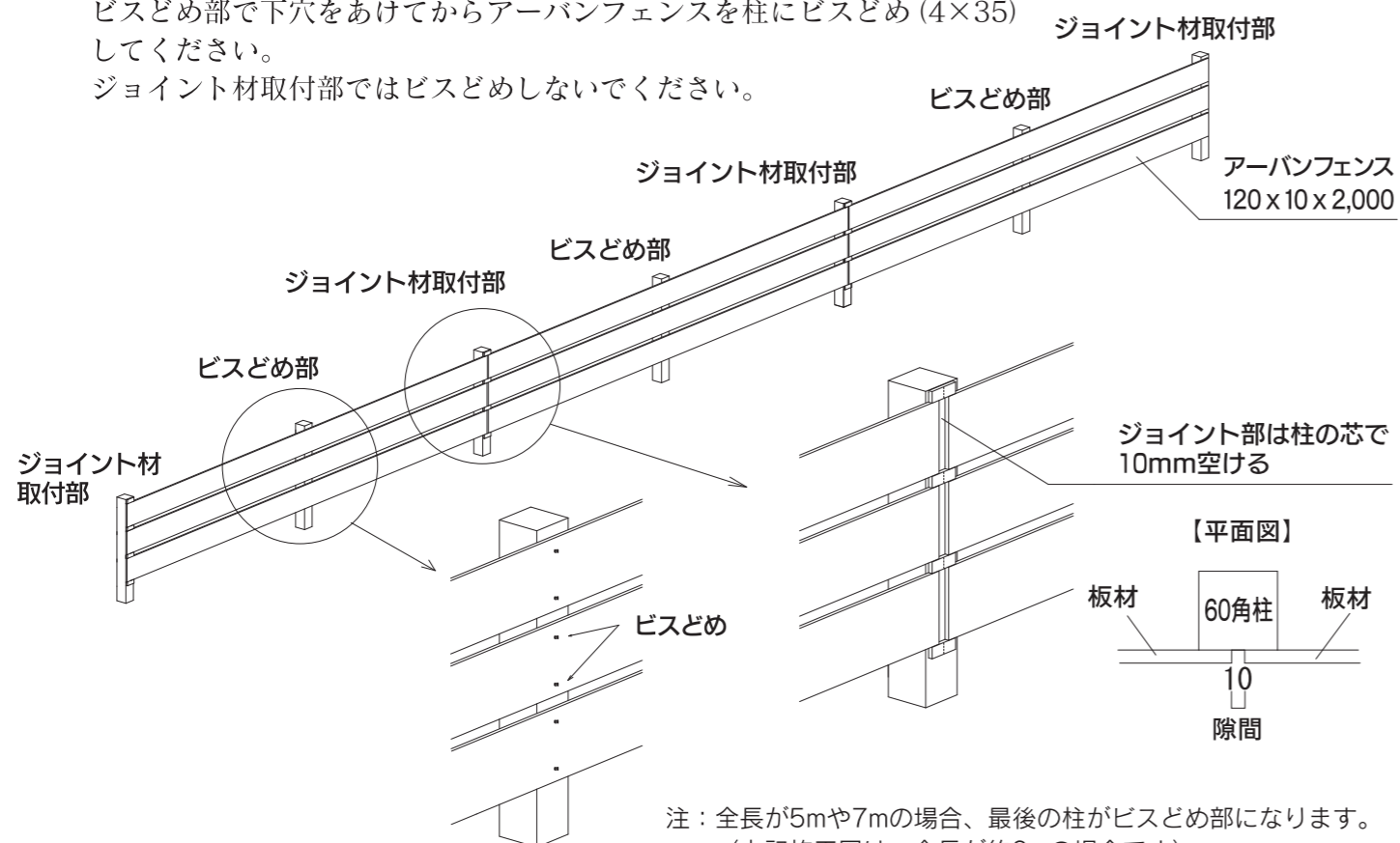


注：ビスどめ部にはスペーサーは貼りません。
 注：全長が5mや7mの場合、最後の柱がビスどめ部になります。
 (上記施工図は、全長が約6mの場合です。)

※スペーサーの幅はご注文時に
 指定頂いた幅になります。

③アーバンフェンスを取り付ける

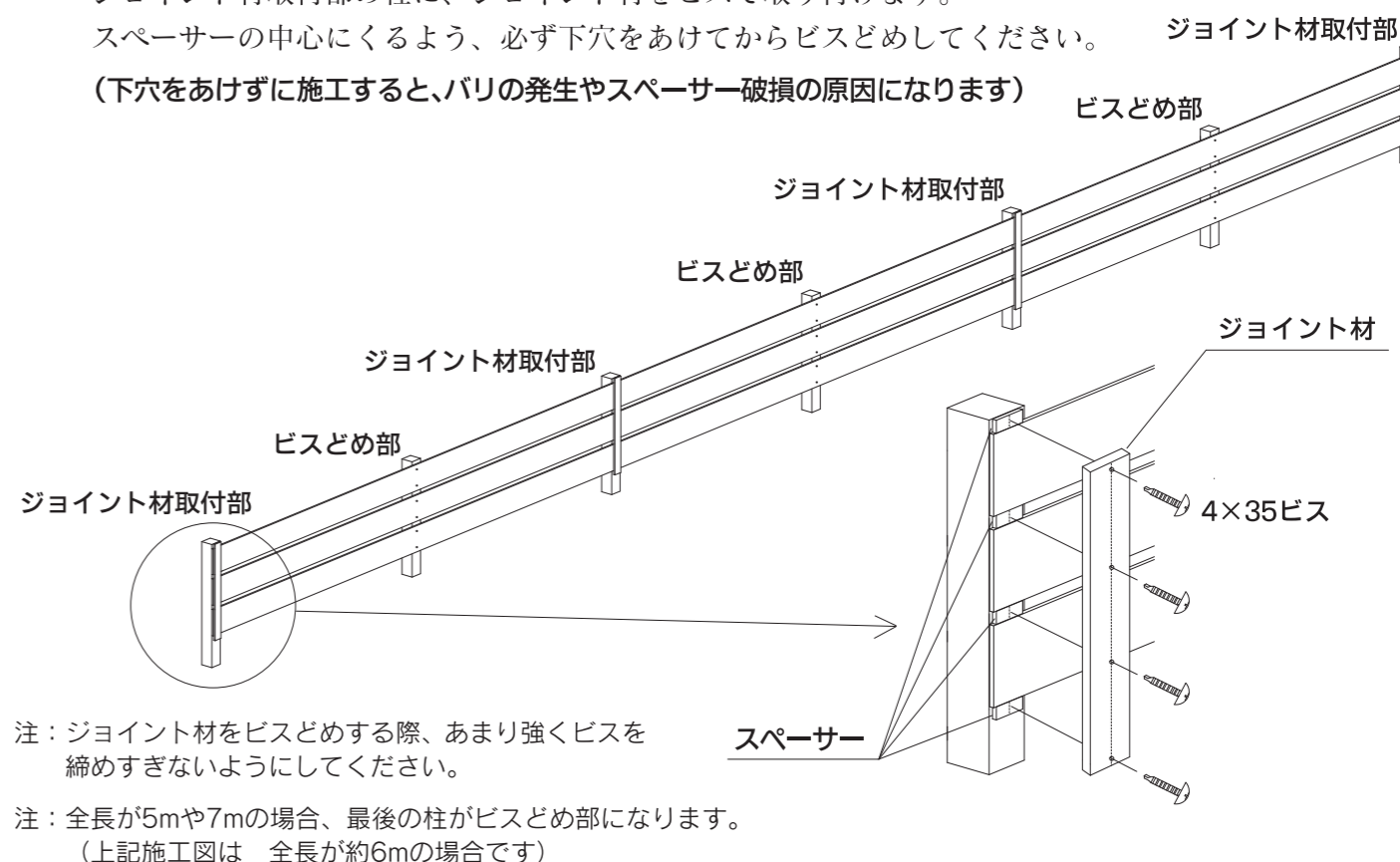
ビスどめ部で下穴をあけてからアーバンフェンスを柱にビスどめ(4×35)
 してください。
 ジョイント材取付部ではビスどめしないでください。



注：全長が5mや7mの場合、最後の柱がビスどめ部になります。
 (上記施工図は 全長が約6mの場合です)

④ジョイント材を取り付ける

ジョイント材取付部の柱に、ジョイント材をビスで取り付けます。
 スペーサーの中心にくるよう、必ず下穴をあけてからビスどめしてください。
 (下穴をあけずに施工すると、バリの発生やスペーサー破損の原因になります)



注：ジョイント材をビスどめする際、あまり強くビスを
 締めすぎないようにしてください。

注：全長が5mや7mの場合、最後の柱がビスどめ部になります。
 (上記施工図は 全長が約6mの場合です)